

平成20年10月27日

各位

上場会社名 株式会社 平和
 代表者 代表取締役社長 石橋 保彦
 (コード番号 6412)
 問合せ先責任者 経営企画室長 坂本 浩之
 (TEL 03-3839-0701)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月23日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,170	△730	3,840	3,400	24.10
今回発表予想(B)	21,950	△7,670	△2,640	△3,490	△24.84
増減額(B-A)	△7,220	△6,940	△6,480	△6,890	——
増減率(%)	△24.8	—	—	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	22,640	1,141	1,412	389	6.53

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	84,200	9,950	19,000	15,290	108.36
今回発表予想(B)	52,870	△7,570	1,960	560	3.98
増減額(B-A)	△31,330	△17,520	△17,040	△14,730	——
増減率(%)	△37.2	—	△89.7	△96.3	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	62,462	447	5,432	3,365	33.13

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,390	670	960	570	4.04
今回発表予想(B)	17,190	△4,150	△3,670	△2,380	△16.93
増減額(B-A)	△3,200	△4,820	△4,630	△2,950	——
増減率(%)	△15.7	—	—	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	30,916	495	1,546	△1,585	△13.98

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,470	8,260	8,840	5,240	37.10
今回発表予想(B)	37,810	△3,720	△3,020	△2,220	△15.79
増減額(B-A)	△22,660	△11,980	△11,860	△7,460	——
増減率(%)	△37.5	—	—	—	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	61,674	1,142	3,253	407	3.17

修正の理由

1. 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1)連結

当社グループにおきましては、第1四半期に投入したパチンコ機、パチスロ機の販売は概ね順調に推移いたしましたが、第2四半期に投入を予定していましたパチンコ機2機種の販売時期が第3四半期以降にずれ込んだため、販売計画を大きく下回る結果(計画比△31千台)となりました。パチスロ機の販売につきましては、ほぼ計画通りに推移しています。

また、昨年8月の株式会社オリンピアとの経営統合以降、パチンコ機本体の共通化、部材の標準化に取り組むとともに、統合前から保有している多額の在庫部材の活用も模索してまいりました。しかしながら、昨今の遊技機市場の変化や当社グループの業績状況を勘案し、在庫問題のスピーディーな決着が必要と判断したことから、両社のパチンコ機関連棚卸資産を再評価し、当社で約31億円、株式会社オリンピアで約18億円の評価損を計上することとなりました。

さらに、株式会社オリンピアにおきまして、当期の業績見通しと将来の利益計画の見通しなどを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、保守的な見地から全額一括取り崩し(約23億円)を行うことといたしました。

以上の結果、表記の通り、当第2四半期の売上高、営業利益、経常利益および四半期純利益を修正いたします。

(2)個別
連結業績予想の修正に伴い、修正いたします。

2. 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1)連結

当社グループにおきましては、ヒット機種を作り出すために、今期より開発プロセスの入り口である企画コンセプト段階と出口であるプロトタイプ評価の段階を徹底的に検証する取り組みを行っていますが、その影響もあり、大型タイトル機種の開発スケジュールに遅れが生じています。そうした開発状況、第2四半期の業績見込み、またパチスロ機の現状の適合状況等を勘案し、通期の販売計画を、パチンコ機につきましては当初計画比△111千台の138千台に、パチスロ機につきましては当初計画比△12千台の60千台に修正いたします。以上の結果、表記の通り、通期の業績予想を修正いたします。

(2)個別
連結業績予想の修正に伴い、修正いたします。

なお、当期の配当につきましては、当初予想の1株当たり年間配当金50円(第2四半期配当金25円、期末配当金25円)を変更する予定はございません。

注)業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成19年8月1日をもって株式会社オリンピアを株式交換により完全子会社といたしました。ただし、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号(最終改正平成18年12月22日 企業会計基準委員会))上は逆取得に該当することになるため、連結財務諸表は、平成19年9月30日に株式会社オリンピアが当社を取得したものとみなし、当社の連結財務諸表は株式会社オリンピアの連結財務諸表が基準となります。

その結果、平成20年3月期第2四半期連結累計期間における「前期第2四半期実績」には当社及び当社のオリンピアグループ(「オリンピアグループ」は株式会社オリンピア及び株式会社オリンピアエステートをいいます。以下同じ。)以外の連結子会社(以下、「平和グループ」といいます。)の経営成績は反映されておられません。また、平成20年3月期における「前期実績」には、オリンピアグループの通期の経営成績に、平和グループの下半期の経営成績が反映されております。

したがって、「平成19年3月期決算短信時に当社が公表した連結財務諸表数値」と、「平成20年3月期第2四半期連結累計期間における第2四半期連結財務諸表公表以降の連結財務諸表数値」との間には連続性がなくなっております。

なお、上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上